

## 1. 今年度事業の概要

## 1. 今年度事業の概要

## 1. 事業背景・目的・内容

## 事業目的

世界の食市場規模は340兆円(平成21年)から680兆円(平成32年)に倍増すると予測されており、急速に拡大する世界の食市場を取り込み、我が国食産業の海外展開を図っていくことが必要とされている。

このため、我が国の農林水産物・食品(以下「国産農産物等」という。)の高品質性や、先端技術を活用した流通システムの高度性などの「強み」を活かし、卸売市場の集分荷機能を活用した国産農産物等の輸出及び我が国の食のインフラ輸出の促進を図ることが重要である。

本事業は、東南アジア地域のうちベトナム、タイ及びシンガポールの卸売市場の実態調査を行うとともに、これらの国の卸売市場関係者を対象としたセミナー及び連携協力会議を実施することにより、我が国の卸売市場を中心とした高度な流通システムへの理解を促進し、我が国から東南アジア地域への国産農産物等の輸出及び我が国の食のインフラ輸出の促進を図ることを目的とする。

## 事業内容

## 1. 輸出入に係る業務提携等に向けた輸出先国の事前調査

ベトナム、タイ及びシンガポールにおける生鮮食料品等の分荷機能やコールドチェーン等の流通実態調査を行い、国産農産物等の輸出の可能性や克服すべき課題の抽出を行うこと。

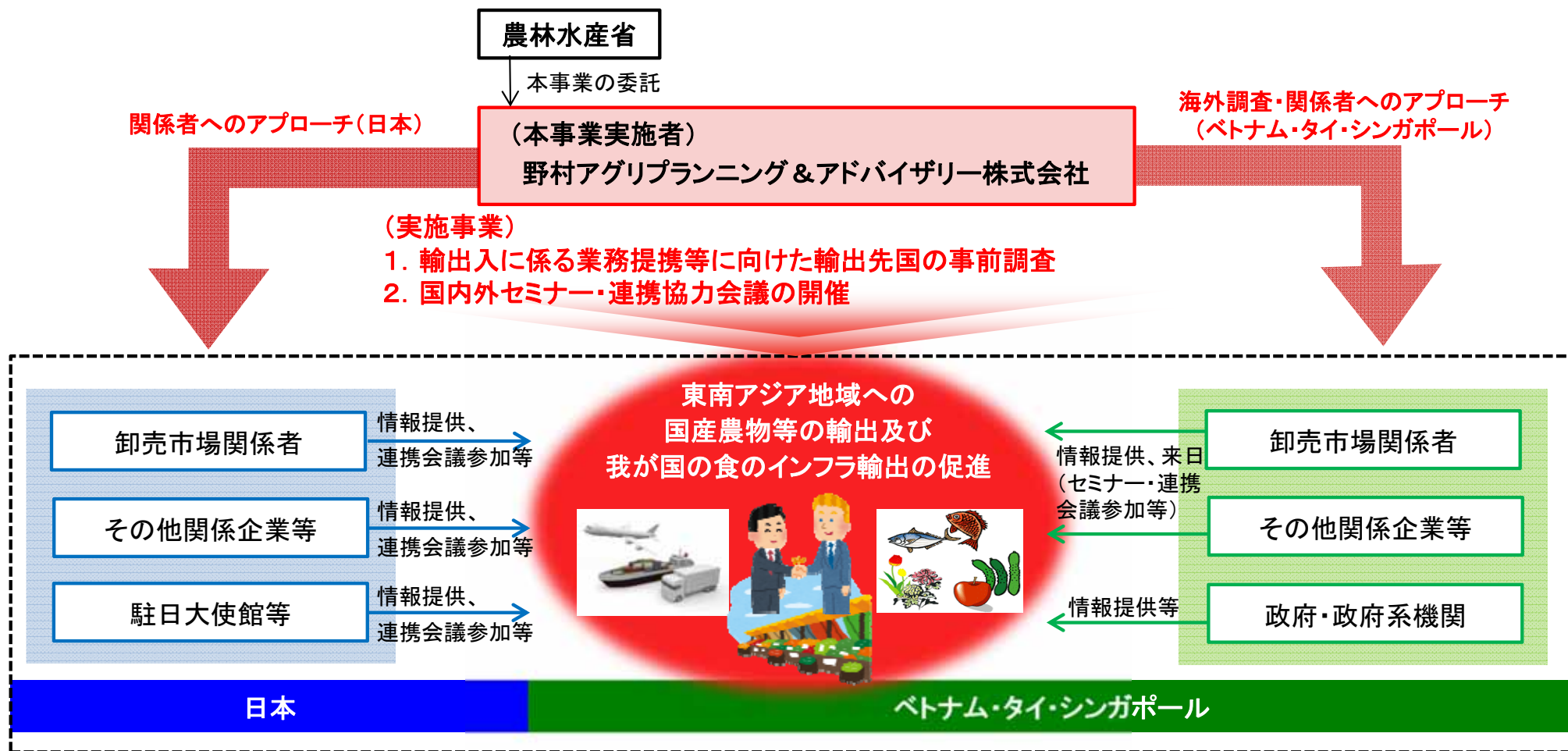
## 2. 国内外セミナー・連携協力会議の開催

海外の卸売市場関係者を日本に招聘し、我が国の卸売市場を中心とした流通システムやコールドチェーン、品質管理等について紹介し、生鮮食料品等流通における卸売市場の果たす役割への理解の促進を図るセミナーを開催する。また、セミナーに参加した海外の卸売市場関係者と国内の卸売市場関係者等15名程度が参加する連携協力会議を開催し、卸売市場を活用した国産農産物等の輸出、輸出先国における卸売市場を中心とした流通システムの構築等について意見を交換し、国際的な卸売市場間連携について合意形成を図ること。

1. 今年度事業の概要

2. 事業の外観図

- 下図は本プロジェクトの外観図である。本事業の委託者は農林水産省で受託者は野村アグリプランニング & アドバイザリー株式会社である。
- 本プロジェクトの目的は、「東南アジア地域への国産農物等の輸出及び我が国の食のインフラ輸出の促進を図ること」である。実施事業は、「1. 輸出入に係る業務提携等に向けた輸出先国の事前調査」と「2. 国産農産物等の輸出の可能性や克服すべき課題の抽出を行うこと」である。



1. 今年度事業の概要

3. 事業の全体スケジュール

実施事業		2015年		2016年		
		11月	12月	1月	2月	3月
1	輸出入に係る業務提携等に向けた輸出先国の事前調査	■				
	(1) ベトナム調査		■			
	(2) タイ調査		■			
	(3) シンガポール調査			■		
2	国内外セミナー・連携協力会議の開催	■				
	(1) 国内卸売市場関係者による事前会合				2/6	
	(2) 卸売市場セミナーの実施 (海外卸売市場関係者向け)					2/19
	(3) 国内外連携協力会議の実施 (国内外卸売市場関係者向け)					2/20
	(4) 海外現地セミナーの実施 (海外現地関係者向け)					3/1

## 4. 事業の実施体制

